

市民のひろば

気づこう 家族の絆の大切さ 気づきうなずきフェスティバル

1月18日、ヴィーブルで、市男女共同参画まちづくり講座「気づきうなずきフェスティバル」が開催され、約600人が参加しました。

市内保育園児のかわいいダンスや合唱、消費生活センターのミニ講座、慈恵病院の田尻由貴子看護部長の講演「いのち～『こうのとりのゆりかご』が映し出す社会～」がありました。参加者は熱心に聴き入り、家族の絆と男女共同参画について考えました。



命の大切さについて講演する田尻さん

無病息災や五穀豊穡を願い 小正月の伝統行事 どんどや

1月11日、野々島コミュニティと合生コミュニティでどんどやが行なわれました。

高さ約10mのやぐらに火がつけられると、しめ縄や書初めなどを投げ入れ、1年の無病息災を願いました。また、残り火で竹ざおにくくりつけた餅を焼き「こうやってお餅を焼くのは初めて」とおいしそうに食べる子どももいました。会場ではぜんざいが振舞われ、参加者は寒さで冷えた体を温めていました。



温かいぜんざいで心も体もほっかほか

合志小学校6年生 税について考える 租税教室

1月24日、合志小学校で6年生を対象に租税教室が行なわれました。社会科の授業に合わせ社団法人菊池法学会が開催しているもので、今年で4回目。同会の講師が分かりやすく税の説明をしました。

説明の後、子どもたちは1億円のレプリカ（重さ10kg）を代わる代わる抱えて重さを確かめていました。最後には、子どもたちから「消費税は8%以上に上がりますか」などの質問がでました。

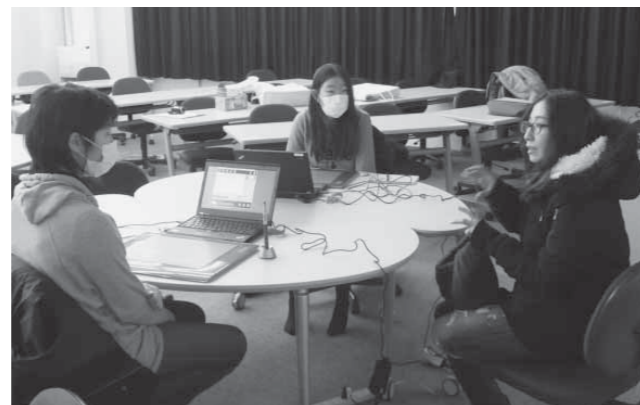


1億円のレプリカで重さを実感

市内の中学生 アニメCM作りに挑戦

1月11日、12日、熊本高等専門学校で市内中学生を対象に、第2回アニメCM制作ワークショップを行ないました。

8月に第1回のワークショップを開催。「合志市」を題材に原画の作成から編集まで自分たちで行ない、今回完成しました。参加者は「直接漫画家の人に教えてもらい、勉強になりました」と話していました。完成した作品は「ふるさとCM大賞」に応募します。



漫画家高濱寛さん（右）から指導を受ける生徒たち

合志市事務事業検証会検討結果

昨年8月、平成25年度合志市事務事業検証会を実施しました。その判定結果に対する市としての検討結果をお知らせします。今回検証した32事業のうち、「市実施（現状）」は16事業、「市実施（改善）」は13事業、「民間・市民による実施」は2事業、「廃止（不要）」は1事業でした。詳細は、市ホームページをご覧ください。



市実施（改善）、民間・市民による実施、廃止（不要）の事業

事業名	判定結果	検討結果
議会広報発行事業	市実施（改善）	議会に対する市民の関心を高めるため、内容を充実し見やすく分かりやすい紙面づくりに努める。
防犯灯設置等助成事業	市実施（改善）	防犯灯設置等補助金交付要綱の改正を行ない、LED防犯灯の設置を推進するとともに、維持管理の補助についても改正を検討する。
民生・児童委員活動事業	市実施（改善）	地域で委員の負担が偏らないよう、一斉改選時に増員などにより適正な配置を行なっていく。増員に対する協議会への補助金については、増額を行なう。
老人クラブ活動支援事業	市実施（改善）	老人クラブおよび市老人クラブ連合会への補助金は継続する。老人クラブのあり方については、意義・目的を再確認し、活性化・魅力化を図るための方策を調査研究する。
庁用自動車管理事業	市実施（改善）	関係部署との協議や分析を行ない、改善策を検討する。
中小企業等活性化推進事業	市実施（改善）	六次産業化や農商工連携事業に積極的に取り組むと共に、中小企業等活性化会議において市内中小企業全体を底上げできるような施策を検討していく。
児童館運営事業	市実施（改善）	児童厚生員の任用期限（10年）なども近づいており、直営2館についても運営委託などの検討を行なう。
広報紙発行事業	市実施（改善）	広報紙をより多くの人に読んでもらうために内容の充実を図ると共に、双方向性をもった市民に親しみやすい広報紙づくりを検討していく。
ホームページ管理・運営事業	市実施（改善）	ホームページの検証を行ない、市民にとってより利用しやすいホームページづくりに努めていく。
翔陽高校線路線バス運行事業	市実施（改善）	合志市からの通学者の1割程度しか利用がない状況であり、現在の在校生が卒業する平成28年3月をもって廃止することも視野に入れながら、翔陽高校との協議を行なう。
奨学資金貸付事業	市実施（改善）	滞納対策マニュアルの見直しおよび少額償還者に対しては所得調査を行ない、所得に応じた額での償還を指導する。また、滞納者および連帯保証人に対しては、法的措置も含め滞納対策を強化する。
生ごみ処理機器設置補助事業	市実施（改善）	ごみ減量対策検討委員会でごみ減量の検討結果も踏まえ具体的対策の中で、現在実施している補助事業についても具体的な効果の検証と広報活動に努める。
農業委員会だより発行事業	市実施（改善）	年2回の発行は必要であり、記事の内容を工夫しながら全戸配布で続けていく（県補助1/2）。ただし、農業委員会会議の中で事務事業検証会委員の意見を基に今後の取り組みについて検討していきたい。
自衛隊父兄会運営支援事業	民間・市民による実施	平成26年度から事務局を父兄会合志支部に移行し、支援の内容などについては父兄会合志支部と協議を行ない協働体制を構築する。
湯ったり乗ったり弁天カード入浴料補助事業	民間・市民による実施	判定結果は「民間・市民による実施」であるが、本補助事業を指定管理者に引き継ぐことは困難である。また、レターバスの利用者増という本来の目的に、より合致したものとするため、本補助事業は廃止とする。レターバスの利用者増につながる特典付きの制度を検討・新設する。
勤労青少年ホーム運営事業	廃止（不要）	生涯学習主催事業の中で対応することとし、勤労青少年ホーム運営事業は廃止する。

●問い合わせ先
企画課 政策企画班（合志庁舎）
☎248-1813

「みんなですめるまちづくり」自治基本条例

市では、自治基本条例に基づき「参画と協働によるまちづくり」を進めています。

